

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> • ままごと、線路と車、ブロック、パズルなど、友だちと一緒に楽しむ姿が多く見られる。 • 着脱など身の回りのことが自分で出来るようになり、進んで行う子が多くなる。 • 好きな玩具を使いたい時、言葉で伝えられずトラブルになることがある。 • 絵本や紙芝居を集中して見るできるようになってきている。 • 泥んこ遊び、プールでの遊びを楽しんでいる。 • 異年齢では、緊張した表情をみせながらも、カレー会食や地区センターの幼児集会などを楽しんで参加している。 		<ul style="list-style-type: none"> • 水分補給をこまめに行い健康的に過ごす。 • 夏の野菜や生き物を観察し、気づいたことを友達や保育者に知らせる。 • 異年齢児との交流を持ち一緒に遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 七夕集会 6日 • 英語であそぼう 13日 • 幼児集会 18日 • 避難訓練 17日 • リズム(センター) 日 <p>地域との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 散歩時には、挨拶をする。 <p>長時間保育</p> <ul style="list-style-type: none"> • 異年齢と安全に楽しく過ごす。 	
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体調を崩しやすい時期なので健康管理を丁寧に行う。 • 室温に気をつけ子どもたちに適した温度設定をする。 • 室内外共に、清潔な環境を整え、過ごしやすいようにする。 • 手洗い、うがいの大切さを知り進んで行う。 • 休息、水分補給をしながら戸外で思いきり楽しむ。 • プール活動を通して、水の心地よさを味わいながら、水の危険についても学ぶ。 • 友だちや、保育者を好きな遊びに誘い、楽しさを共有する。 • 遊びの中で友だちの気持ちに気づき、譲ったり、我慢したり、主張したりする。 • 雨の様子を眺めたり音を聞いたり触れたりして様々な発見をする。 • 夏の野菜や、小生物に興味をもち保育者や友だちと観察し気づいたことを言葉にする。 • 絵本や紙芝居を喜び、内容や言葉に反応し、保育者や友だちと会話を楽しむ。 • 七夕制作や、さまざまな素材を使用した制作を楽しむ、友だちと見せ合い喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 温度計・湿度計をこまめに確認ができるように室内の見やすい所に設置をする。 • 集団生活の中、一人ひとりが情緒の安定した生活を送れるようにする。 • 気温に留意しながら戸外や室内での運動遊びを楽しめるように配慮する。 • 清潔にプール遊びができるように掃除や水質検査を行う。 • 子どもたちの興味のある環境を整え遊びに集中できるようにする。 • ままごとやブロック等、集団で役割を持って遊べる玩具を準備する。 • 梅雨や夏の様々な自然現象に発見や興味をもてるよう、配慮する。 • 見たもの、気になったものを調べることが出来る図鑑を準備する。 • イメージを広げながら絵本や紙芝居に親しむことができるような雰囲気作りをする。 • 子どもたちが、興味を持って取り組める素材を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 顔色、体温の変化などに注意し、一人ひとりの健康状態に合わせた配慮をする。 • 適切な、温度設定、空調管理に努める。 • 戸外遊び、プール、食事前の手洗いうがいを丁寧にできるような時間をとるようにする。 • プール内での約束をそのつど伝え、安全に楽しめるように配慮する。 • 集団の中での一人ひとりの様子を把握し、子どもたちが互いに良い関係を作れるように仲立ちや援助をする。 • 遊びに集中するまで保育者も一緒に遊びに入る。 • 子どもたちの発見や、興味に共感し、保育者や友だちとの会話が膨らむようにする。 • 一緒に観察したり調べたりして興味が増す様にする。 • 子どもたちの言葉に丁寧に答え、お話に応じた会話ができるよう援助していく。 • それぞれの作品を認めること、友だちと見せあうことで、制作することの楽しさを十分に味わえるようにする。 		
<p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> • 配膳の仕方を覚え、丁寧に行う。 • 給食のメニューを聞いて興味をもち味わって食べる。 • 調理体験を通して、色々な食材に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人ひとりのペースに合わせ、あわてず配膳ができるよう時間をとる。 • ゆったりと取り組める環境と時間を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人ひとりの様子に気を配り、主食の量を加減する。 • どの食材も体のために必要なことを知らせていく。 • 各テーブルで、作る工程を丁寧に知らせていく。 		